

九州観光推進機構 活動レポート

感動がある。物語がある。九州



— 2013年8月号 —

◆ 7月のトピックス

○ 日本専門観光雑誌「行楽」を活用した招請及び情報発信を実施（第1回目）

（6月28日～7月3日：福岡・大分・熊本・長崎）

中国の日本専門観光情報誌「行楽」のスタッフを招請し各地の取材を行いました。取材結果は同誌で発信していきますが、今回は8月発行予定の夏号に掲載するため「ファミリーで楽しめる九州の遊び場」と「特急A列車で行く天草おとな旅」をテーマに取材しています。各地の魅力的な観光情報をテーマを設けて掲載することで、特に個人旅行者を中心とした誘客の促進を図っていきます。

※「行楽」…年4回発行。上海を中心とした中国各地の主要旅行会社や一定以上の所得を有する層へ配布。

○ シンガポール及びタイにおける九州観光説明会及び商談会を開催

（7月2日：シンガポール、4日バンコク）

シンガポール及びタイの訪日取扱旅行会社及びマスコミ等に、九州の魅力的な観光素材を紹介し、一般旅行及びインセンティブ旅行等の誘客拡大を図るために、シンガポール及びバンコクで「九州観光説明会・商談会」を開催しました。

- ・九州側参加者：シンガポール29団体42名、バンコク31団体46名
- ・現地側参加者：シンガポール39社68名、バンコク72社100名



○ 九州オルレ視察研修を開催（7月3日：高千穂、4日：奥豊後）

旅行商品の造成促進等を図るため、九州オルレの高千穂コース及び奥豊後コースの現地視察研修を開催しました。

国内の旅行会社・メディア・アウトドアショップの方等を合わせて21名の方に御参加いただき、実際にコースを体験してもらいました。

今回研修を行った2コースは、それぞれ見どころがあり、研修に来られた方々も満足されているようで、今後の商品化等に期待が持てる研修会となりました。



○ 鉄道利用促進のための現地研修を実施（7月4日：宮崎、5日：鹿児島）

近畿・中国地区の旅行会社の担当者を九州に招待し、鉄道利用による九州方面の旅行商品造成の強化や、窓口販売の際の販促を目的として、現地研修を実施しました。

今回は、JR西日本が実施中の「リメンバー九州キャンペーン」と連動し、キャンペーンの対象スポット等を中心に視察を行いました。旅行会社からは32名の参加がありましたが、宮崎・鹿児島には初めて来たという方も多かったため、今後の販売において大変参考になったという声を多くいただきました。



○ 北部九州四県商談会に参加（7月8日：東京）

北部九州四県（佐賀県、長崎県、熊本県（幹事）、大分県）商談会に参加し、在京ランド社（18社28名）に対し、九州観光についてプレゼンテーションを行い、豊富な観光素材をPRしました。



○ 「国際観光シンポジウム2013 in 九州」開催（7月11日：福岡）

7月11日福岡市中央区ホテルニューオータニにて「国際観光シンポジウム2013 in 九州」（主催九州観光推進機構・日本経済団体連合会・九州経済連合会）を開催しました。東日本大震災以降、特に韓国からの観光客数の回復が遅れていたことから、韓国の全国経済人聯合会の協力のもと、韓国からの観光客の受け入れに力を入れている九州にて開催となりました。

大塚陸毅経団連副会長、井手憲文観光庁長官（当時）、朴三求全国経済人聯合会副会長の挨拶のあと、シンポジウムでは、日韓観光交流の拡大に向けた取り組みとして、日本側から高橋九州観光推進機構事業本部長が地域観光資源を磨く取り組みとして九州オルレについて紹介しました。そして石原進九州観光推進機構会長が閉会挨拶において「日韓両国が政治問題など厳しい状況乗り越えてウィン・ウィンの関係を築くためにも、観光による人と人との交流が重要」と述べ、今回のシンポジウムを契機に日韓観光交流の拡大をさらに進める旨を表明しました。シンポジウム関連行事として小川洋福岡県知事、高島宗一郎福岡市長も参加の懇談会と武雄コース視察が行われました。



○ 鉄道利用促進のためのイベントを実施（7月13日～14日：岡山）

JR西日本が主催する岡山駅前での観光PRイベント「夏たびフェア in 岡山」に参加しました。機構としてPRブース及び九州各県や九州の観光列車のパネルを設置し、ブースの中を「クイズラリー」で周遊していただきながら、各県のパンフレットを設置するなどPRを行いました。イベント全体では2日間で25,000人の方が足を運ばれ、機構のクイズラリーには700名の方に参加いただきました。屋外でのイベントということで大変暑い中でしたが、多くの方に九州の観光をPRすることができました。



○ **台湾における九州に特化した旅行番組制作第1回撮影を実施**（7月14日～27日：福岡、長崎、熊本）

九州旅行番組「遇約九州」の撮影のため、スタッフ7名を福岡県、長崎県、熊本県に招請しました。今回の撮影では、福岡県の博多山笠や、長崎県平戸市、熊本県黒川温泉街など、日頃紹介されない観光素材や FIT 向けの観光施設を撮影しました。撮影は8月及び9月にも行われ、番組は、台湾テレビ局2社において60分番組で1クール（13回）にわたって放送します。



○ **台湾でのイベントを活用した観光PRを実施**（7月27日：台北）

台湾の日本人会が台北日本人学校で開催する「夏祭り」の機会を捉え、会場内に設置した九州ブースにおいてPRを行いました。会場は日本に興味のある台湾人や台湾在住の日本人であふれ、大いに盛り上がりました。また、7月21日（日）には中華航空マイレージ会員に対しての夏祭り開催案内及び九州観光セミナーを開催し、個人旅行向けの目的地として、九州の認知度向上及び九州旅行需要の喚起を図りました。



○ **日経BP社へ取材協力**（7月）

日経BP社発行の雑誌「日経おとなのOFF」8月号（7月6日発売）「誇りの地巡礼」のコーナーで、鹿児島県の奄美大島を紹介しました。奄美の地に誇りを持ちながら暮らす人々に注目しながら、金作原原生林やマングローブ林などの観光スポットとともに紹介する内容で、島の人々を通して、奄美の魅力を発信しました。

※「日経おとなのOFF」…月刊／8万部



○ **朝日新聞出版へ取材協力**（7月）

朝日新聞出版発行の雑誌「男の隠れ家」の9月号（7月27日発売）の特集「一度は行きたいそばの店」の中で、福岡県朝倉市、広川町、福岡市、大分県豊後高田市、宮崎県椎葉村のそばをご紹介しました。椎葉村以外については、具体的なお店と共に、沿線の観光スポットを、椎葉村については伝統的な焼畑そばの栽培方法などのご紹介を行いました。

※「男の隠れ家」…月刊／15万部



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 新入会員企業のご紹介

新たに次の企業が会員になりましたので、お知らせいたします。(敬称略)

- ・スカイレンタリース株式会社

所在地 北九州市小倉北区砂津1-6-25 小文字幹線ビル201号

代表者 代表取締役社長 長手 繁

- ・ワイズ・ジャパン株式会社

所在地 福岡市中央区渡辺通5-13-11 天神渡辺通ビルディング4階

代表者 代表取締役 エン チュウ ユウ エイドリアン

○ 8月以降の主な事業

- ・航空プロモーション羽田イベント(8月2日:東京)
- ・第1回マラソン九州連携シンポジウム(8月5日:福岡)
- ・平成25年度「九州7県合同」修学旅行説明会・相談会(8月6日:岡山ほか)
- ・福岡空港での「九州たびの魅力展2013」開催(8月10日~8月29日:福岡)
- ・台湾における九州に特化した旅行番組制作第2回撮影(8月14日~8月27日:宮崎、鹿児島)
- ・タイ・海外旅行博出展事業「TITF 2013」(8月15日~8月18日:タイ、バンコク)
- ・シンガポール・海外旅行博出展事業「NATAS Holidays 2013」(8月16日~18日:シンガポール)
- ・インドネシア「訪日旅行セミナー・商談会」及び「Japan Travel Expo」出展事業
(8月22日・8月24日~25日:ジャカルタ)
- ・九州各県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議(8月29日:福岡)
- ・「九州観光誘致」大阪イベント(8月31日:大阪)
- ・航空プロモーション東京ドームイベント(9月4日:東京)
- ・旅行会社向け現地研修(9月19日~20日:熊本・長崎)
- ・MATTA Fair Kuala Lumpur 2013 出展事業(9月6日~8日:クアラルンプール)
- ・釜山国際観光展(9月6日~8日:釜山)
- ・日韓交流おまつり(9月15日:ソウル)
- ・台湾における九州に特化した旅行番組制作第3回撮影(9月15日~10月1日:福岡、佐賀、大分、熊本)

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 佐藤

TEL:092-751-2943 FAX:092-751-2944

E-mail: info@welcomekyushu.jp